

授業科目

高齢者健康増進学

担当教員名 小林 量作、佐藤 成登志、古西 勇	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

中・高齢者の健康増進について、日本における現状・施策、健康増進における理学療法士の役割、地域における理学療法士の活動について講義する。また、理学療法士活動場面などの実践例も見学する。

授業の目的

高齢者の健康増進・ヘルスプロモーションにおいて理学療法士に求められている役割を実感するために、日本の施策や理学療法士の地域での役割などについて理解し、実践的な経験を積む。

学習目標

1. 健康増進・ヘルスプロモーションにおける日本の施策を理解する。
2. 理学療法士の役割、活動分野、地域浸透について理解する。
3. 運動器慢性疼痛に関連したEBMについて理解する。
4. 理学療法プログラムについて理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	健康増進・ヘルスプロモーションにおける日本の施策	講義	小林 量作
2	理学療法士の役割、活動分野、地域活動	講義	小林 量作
3	運動器慢性疼痛に関連したEBM；腰痛（学生発表）	講義・演習	佐藤 成登志
4	運動器慢性疼痛に関連したEBM；膝痛（学生発表）	講義・演習	古西 勇
5	運動器慢性疼痛に関連したEBM；肩痛（学生発表）	講義・演習	古西 勇
6	産業保健分野における理学療法士の役割	講義	佐藤 成登志
7	行動変容理論、地域介護予防における理学療法士の役割	講義	小林 量作
8	転倒予防教室、ロコモ予防教室の見学	演習	佐藤 成登志、小林量作、古西 勇 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	健康増進と介護予防	鶴見隆正・編、大淵修一・編	三輪書店	2004年	4,200円	
その他の資料						

評価方法

学生の発表。
期末試験。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

小林：研究室 E203，メールアドレス ryo-koba@nuhw.ac.jp，オフィスアワー 月・火・木の17:00～18:00

佐藤：研究室 E102，メールアドレス n-sato@nuhw.ac.jp，オフィスアワー 月～金の17:00～18:00

古西：研究室 E201b，メールアドレス konishi@nuhw.ac.jp，オフィスアワー 月～金の8:30～18:30（授業や会議で不在の場合があるので、事前に連絡を）